

## 1. 総括的概要

未曾有という言葉が氾濫した20年度でした。世界的な金融危機は百年に一度の事態であり、新型インフルエンザの脅威は地球レベルで対応しなければ克服できない人類全体の課題である等、未曾有の事例には事欠かない一年でありました。

かつて経験したことのない戦後最大の経済危機の打開に向け、日本政府が新たな成長戦略を見据えて取り纏めた大型景気対策に、日本商工会議所が要望として集約した全国の商工会議所の声が反映されたことは、意義ある成果でした。

この大型景気対策は、わが国経済の成長に資するとともに、大きな雇用創出効果が期待される社会インフラ整備について、前倒し執行とともに地方への配慮も盛り込まれました。また、資金繰り対策としては、中小企業向けの信用保証枠のさらなる拡充に加えて、地域経済の中核的な役割を担う中堅規模の企業に対する支援制度も強化されました。さらに、内需拡大に向け、経済波及効果が大きい住宅取得のための時限的な贈与税の軽減、環境対応車への買換え支援なども講じられており、二度にわたる日本商工会議所の緊急提言内容が数多く盛られ、経済危機克服に向け積極的な活動が展開されました。

当市は、遺憾ながら二代続けて市長逮捕という事態に、市民をはじめすべての関係者は深い失望と怒りを覚えました。都市イメージの失墜は計り知れない社会的損失を被りました。個人の資質の問題とはいえ、回復には官民挙げて全力で取り組まねば道のは険しく、総市民が挙げて「だいすき宝塚」といえる社会を創らねばならないとの思いを強く心にした一年でありました。

創立10周年の節目の年を迎えるにあたり、地域経済の更なる発展に向け準備年としてプレ事業の実施をはじめ、会員個々の結びつきを再確認すると共に、役員議員、職員の連携を軸に、会員の皆様のご協力もいただきながら会員増強に組織を挙げて取り組みを行いました。

結果において会員の地域活力増進に対する意識がこれまで以上に高まり、次年度に向けて組織力の向上に大きな期待がもてる意を強くした一年でした。

主な成果は、次のとおりです。

### 1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

#### (1) 「宝塚市産業活性化推進会議」の運営

企業立地・企業誘致等の政策立案や北部開発等地域課題を総合的に整理することを目的とし、経済活性化常任委員会を中心に研究した。具体的には宝塚市幹部と正副会頭との協議を持ち、共通認識を得た。

### 2. 産業活性化策の積極的推進

#### (1) 地域活力増進事業の推進

##### ① 「商人塾（宝塚流おもてなし講座）」の開催

昨年度に引き続き大型店出店対策の一環として“宝塚まちなか商業”の活性化を目指し、今年度は「宝塚流おもてなし」をテーマにした取り組みの中で講座を開催し活動内容の充実に努めた。

## ②「宝塚観光ルート（いいとこどり宝塚）」事業の実施

兵庫県大型観光交流キャンペーン推進協議会で検討され、21年度にかけて実施されるデスティネーションキャンペーンにあわせて独自の観光ルートを提案し、『宝塚観光ルート（いいとこどり宝塚）』としてパンフレットを発行した。既存の観光資源を有機的に結び、宿泊滞在型の観光客を呼び込む動機になるよう“いいとこどり”に主眼を置いた。

## ③「おいしいまち宝塚（食編）」事業の実施

複数年にわたり市民等においしい店の推薦をいただいたり、所報市民版や市内イベント会場などでアンケート調査を実施し得た情報を『宝塚観光ルート（いいとこどり宝塚）』に反映させた。

## (2) 創業・起業支援事業の促進

### ①「起業（創業）何でも相談日」の開設

従来より男女共同参画センターとの協働により実施していた不定期事業を本年より年4回実施することとした。また、実施に当たり日本政策金融公庫と共催で開催し、より実効性の高い事業として発展させた。

### ②空き店舗情報等提供事業の実施

空き店舗対策に係る公的な支援制度や空き店舗・工場等の情報を集約し、ホームページや所報等でわかりやすく公開した。

## (3) 会員ビジネス交流事業の促進 ～ビジネスマッチング事業の開催

過年度より実施してきた「異業種交流会」「会員ビジネス交流会」を統合し「会員全体交流会」として実施した。

## 3. 組織の基盤強化

### (1) 会員増強運動の展開

「地域のつながり力の強化」をテーマに会員増強月間を設定し増強に努めた。特に、役員議員からのご紹介を中心に加入勧奨を図った結果、大いに加入促進がなされた。

### (2) 会員福利厚生事業の充実

会員参加型事業の推進を基本として本年度は事業を展開、特に具体的事業として「事業参加券」を発行し多くの会員参加を促す事業に取り組んだ。

## 4. 中心市街地活性化への支援

宝塚市が国に提出し認定を受けた基本計画の進捗を当協議会が検証し、特にまちづくりの「担い手」である宝塚まちづくり(株)によりリニューアルされた商業施設に期待を寄せていたが、遺憾ながら宝塚まちづくり(株)の倒産という事態をふまえ、今後の推移を監視しながら支援を図る。

## 5. 創立10周年記念事業の企画

会議所組織を挙げて創立10周年の意義を内外や会員相互で分かち合えることを念頭にした記念事業を検討。具体的には運営を委ねる機関を設置し、具体的検討に入った。今年度より事業実施の機運も高く、その声に応えプレ事業も実施した。